

＊ 青草確保の悩みは解決！
この輝かしい収量を皆様の手で！

イタリアンライの巨大多収種

ムンモスイタリアン A

ムンモスイタリアン B

- 葉茎、種子いずれも巨大型で、明らかに普通種と識別できる超多収品種
- 刈取後の再生が極めて旺盛で分けつも多い。
- 葉茎は濃緑色を呈し、水分含量率やや高く、家畜の嗜好が良好。
- 普通種より夏枯れ被害少なく、早ばつや病気にも強い。

マンモスイタリアンAとBの使い方

マンモスイタリアンAは晩生系、マンモスイタリアンBは早生系であり、特性も異なりますので、夫々の長所を充分発揮できるように、使い分けて下さい。

●暖地の秋まきに最適…………… マンモスイタリアンA

晩生系で耐寒性強く、暑熱にも比較的耐える生存期間の長い多収品種です。東北地方及び関東以南の暖地で秋まきし、翌年秋まで刈取利用できる長期利用型の品種です。春まきの場合は、その年には出穂せず、葉のみが繁茂しますので、応急の放繋牧用としても有効に利用できます。

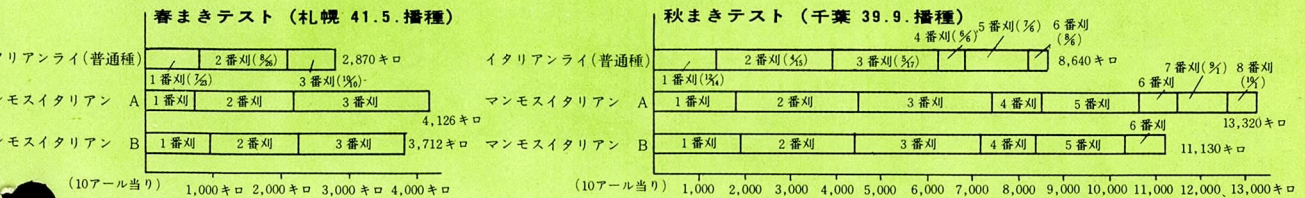
●生育の早い短期利用…………… マンモスイタリアンB

早生系で刈取後の再生と出穂が早く、短期利用及び早期利用に適します。主に、寒地、暖地で春まきし、草地への追播、秋まき作物の前作、えんばくに代る牧草の保護作物などに利用されます。耐寒性も強いので暖地の水田、畑地の裏作物として秋まきし、翌春早期の利用にも適します。

高生産にはマンモスイタリアンの利用

この多収性のマンモスイタリアンを水田裏作、輪作畑、草地などに入れ、自給飼料の増産に役立たせて下さい。良質で多量の青刈、乾草、サイレージを確保することができます。利用法は次頁のイタリアンライグラスのつかい方を参照下さい。

収量比較



ご注意!! 類似品が出廻っておりますので、ご注意下さい。マンモスイタリアンは、すべて、このポリ袋で販売されております。

放繋牧専用の巨大品種

マンモスペレニアル

マンモスイタリアンと同様、ペレニアルライグラスの巨大型極多収の品種です。放繋牧草の中に必ずこのマンモスペレニアルを加え、生産収量を高めましょう。今秋は品切ですが、翌春以降の種子は充分です。



多面に利用できる

イタリアンライグラス

イタリアンライグラスは生育非常に早く、再生力旺盛で、短期間に良質の青草を生産するので、我国のような集約的栽培には最も重要な牧草です。この特性を充分発揮させて下さい。品種は普通種の他に、前述の雪印改良品種のマンモスイタリアン、それにオオバヒカリ、ワセヒカリ、鳥取系があります。(品種の特性は、14頁の品種の特性一覧表をご覧下さい)

イタリアンライの栽培について

●播 種 期

- 北海道..... 4月上旬～5月上旬の春まきが普通。
- 東北地方北部 (夏作物収かくの1ヶ月前に中播し、年内利用もできます)
- 温暖地(東北地方中部以南)..... 9月上旬～10月下旬
(気温の低い地方ほど早播きとし、西南暖地では、12月まで播くことができます。)

●播 種 量

- 単播..... 2～3*。(10アール当り)
- 混播..... 0.5～1*。

●播 種 方 法

- 他牧草と混播する場合は散播、単独播種の場合は散播又は畦中50～60%の条播が有利です。
- 水田裏作..... 水稻が倒伏していない場合、水稻刈取前の中播で充分ですが、稲が倒伏している場合や水田が非常に乾燥している場合は水稻刈取後、耕起して全面散播の方が有利です。覆土はせず、乾燥気味の時は、ローラー等で鎮圧します。排水不良田では高畦として、広巾に条播します。
- 畑地..... 田畑輪換、飼料畑、畦畔などあらゆる所に栽培できます。麦類や他牧草との混播が有利です。翌年の盛夏期をさけるため、6月中旬に鋤込み、跡作として、夏作物のソルゴー、スーダングラス、デントコーンを作付し8月まで利用し、以降かぶを播くこともできます。又最近、ローズグラスと組合せて、年間切れ目ない生草を生産する方法が検討されております。

●施 肥 量

- 生育が旺盛のため、多肥によって著るくし増収されます。窒素肥料の増肥や春先の牛尿の追肥は効果があります。
- 施肥基準 (10アール当り、キロ)
元肥..... 硫安20、過石30、塩加10
追肥..... 窒素成分で、10アール当り、10キロ前後を、刈取毎及び春先に分肥。
(推廐肥、牛尿をできるだけ使いまししょう)

●利 用 方 法

イタリアンライグラスの利用を時期別で大別しますと、次の通りです。

1. 冬期利用 (初冬期～早春)

○集約放牧と青刈利用

初冬と早春のイタリアンライは消化率よく、栄養価も高いので、冬期間の貯蔵飼料依存の欠点を補うため、冬のイタリアンライの生草を利用して下さい。但し、この時期は収量が少ないので、必ず貯蔵飼料と組合せて給与します。放牧の場合も集約短時間の運動を兼ねた採食に止めます。冬期間のイタリアンライは水分少なく、良いサイレージができますが、厳冬の刈取りや利用はさけた方が良いでしょう。

2. 春～初夏利用

○集約放牧と青刈利用

この時期は、イタリアンライグラスの最盛期に当たりますので、刈取時期が遅れないよう、適期に刈取利用、効果的な放牧を行って下さい。

○サイレージ、乾草の調製と利用

余剰の生草は、この時期にサイレージ、乾草に調製し、夏期～秋期並びに冬期用飼料として保存します。サイレージ調製は、適期刈取と予乾(水分60～70%)が大切です。乾草調製も適期刈取が大切ですが、短日間に乾燥させ、養分損耗のないように仕上げるべきで、できたら、仕上げは人工乾燥が望ましいわけです。

3. 夏期～秋期

○この時期には、一般に利用しませんが、利用するとすればマンモスイタリアンなどを他牧草と青刈、放牧に使えます。

●刈 取 上 の 注 意

- 晩秋から春4月頃までの栄養生長期には、草丈40～50%位、地上5%以下にならないよう刈取れば、再生、分けつも良い。出穂し始めると、早目に刈取し、刈遅れないよう注意して下さい。
- 出穂したイタリアンライでは、低刈りもできます。
- 比較的安定した収量を得るには、年4～6回刈が最も適しています。

早春と夏期に刈取りできる

雪印改良

青刈えんばく

- 青草の不足気味の「早春」と「盛夏」時に貴重な飼料を生産できます。
- 生育が早く、つくり易いので、寒暖地共に春まきして、青刈デントコーン収かく前に刈取できます。
- 暖地では秋まきして、晩秋や早春に多量に青刈できます。
- 葉の割合多く、分けつ旺盛で、柔かい良質草を長期間利用できます。
- いずれも、イタリアンライ、ベッチ、えんどうなどの混播が有利です。

多収かくには次の雪印改良4品種を利用!

- 雪印101号** 秋まき適品種、伸長型、葉多い
- 豊葉** 秋まき適品種、葉多く分けつ大
- 太豊** 春秋いずれにも適す。葉茎巨大
- 新品種 セブンオート** 耐寒性大、稈強く倒伏せず

子実兼用として、早生種の「前進」「岡山黒」も取扱っております。

栽培の要点

まき時期 早まきがよい。東北地方南部以南では秋まき。

8月下旬～9月下旬に播き、年内1回刈、翌春3月下旬～4月上旬頃から1～3回刈。10月中旬～11月中旬播きでは、翌春1～2回刈とします。

寒地でも8～9月に播き、秋のハザカイ期に利用できます。

まき方 播種量……単播8～10^g、混播2～3^g。

(10^gアール当り)

混播例(散播が有利です)

- | | |
|--------------------------------------|--|
| { えんばく 2～3 ^g 。
ベッチ 4～5 | { えんばく 2～3 ^g 。
イタリアンライ 0.5 |
| | |

肥料 基肥として、推厩肥2,000^g、硫酸20^g、過石20^g、塩加5^gは必要です。

刈取り 数回刈の時は、生長点を切らぬよう、10^{cm}位の高刈りとします。

飼料作物種子容重換算表

作物名	1升当り規	1 ^g 当り%	作物名	1升当り規	1 ^g 当り%
赤クロバ	1.46	1.25	ケンタッキーブルーグラス	0.52	3.44
白クロバ	1.49	1.22	スムズブroomグラス	0.38	4.76
クリムソクローバ	1.43	1.26	ウイーピングラブグラス	1.46	1.25
アルサイクローバ	1.48	1.21	ベントグラス	0.90	2.00
ルーサン(アルファルファ)	1.46	1.25	パーミュエターグラス	1.07	1.69
えんどう	1.45	1.24	バヘアグラス	0.96	1.88
ベッチ	1.46	1.25	タリスグラス	0.60	3.03
青刈大豆	1.33	1.35	ローズグラス	0.15	12.14
ゲレン	1.33	1.35	スーダングラス	1.18	1.53
チモシー	1.10	1.63	ソルゴー	1.31	1.37
オーチャードグラス	0.33	5.45	パールミレット	1.46	1.25
ライグラス	0.71	2.54	テオシント	1.20	1.51
ケンタッキー31フェスク	0.68	2.63	えんばく	0.80	2.32
メドウフェスク	0.64	2.85	ライムギ	1.26	1.42
リードカナリーグラス	0.83	2.17	デントコーン	1.27	1.44
トールオートグラス	1.30	1.38	家畜ビート	0.46	3.84
トールオートグラス(稈付)	0.31	5.80	家畜かぶ	1.21	1.49
レッドトップ	0.40	4.54			



寒さに強く、どこにでも生育する！

晩秋～早春の青刈飼料

葉茎巨大
超多収

雪印改良

ライ麦

(4倍体ライ麦)

田畑の裏作として――。

麦類中1番遅く播くことができます。

春早くから、旺盛に生育します。

多収をあげるためには、超多収の雪印改良種。

つくり方

- 排水の良いところを選んで下さい。
- まく時期は、暖地9月上旬～11月下旬。
寒地9月上旬が適期。
- まき方は単播と混播がありますが、混播が有利です。
ばら播よりも、畦巾45～70㎝、まき巾15～20㎝の条播が良い。
- 単播……7～10*。(10アール当り)
- 混播……3～4*。(10アール当り)
- 混播例

{	ライムギ4*	{	ライムギ5*	{	ライムギ3*	{	ライムギ3*
	ベッチ3*		レーブ0.5*		イタリアン1*		
	えんどう4*		えんどう3*		ベッチ6*		
- 肥料はとくに加里肥料を多目に与えて下さい。
- 積雪地帯では、雪グサレ病等予防のため、降雪直前に水銀剤などを散布して下さい。
- 2～3回刈を目的とする場合は、6～10*の高刈とします。

お 願 い

ライ麦やエン麦は夏に生産された種子を直ちに利用しますが、乾燥不充分的ものを長途輸送したり、暑い地方で保管しますと発芽が著しく低下することもありますので、播種直前の納期をお申し出下さい。充分乾燥した発芽の良い種子をお届けします。

飼料作物の平均収量は？ (10アール当り、関東周辺の普通地、標準施肥)

作物名	収量	摘要	作物名	収量	摘要
ラデノクローバルーサン	9～10 ^ト 7～8	4～5回刈	えんばく	4～6 ^ト	青刈用品種
まめ科牧草類	5～8		ライ麦	4～6	
イタリアンライグラス	9～10	平均	ベッチ	5～6	
いね科牧草類	4～5	マンモスイタリアンは3～4割増	えんばく、ベッチ混播	5～6	
いね科、まめ科混播	5～6	平均	デントコーン	7～8	
		〃	ソルゴー	7～8	スイートソルゴー、ハイブリッドソルゴー8～10 ^ト

短期間に収かくできる

家畜かぶ

どこにでも簡単につくれ、生育日数の短いことを充分に活用して、水田裏作や畑えの多毛作に入れ、土地を無駄なく使い、冬期の飼料不足時に多汁質根菜として利用されます。

品種の特性を考えて、使い分けて下さい。(14頁参照)

生育日数 70~80日

極早生、短期多収、遅まきもできる **雪印改良紫丸かぶ**

生育日数 100日

中生種、東北地方に良い **小岩井かぶ**

生育日数 110日

晩生種、暖地で極多収 **雪印改良下総かぶ**

生育日数 130日

極晩生種、九州地方で多収 **セブントップ**

栽培上の注意

- まく時期** 暖地8月中旬~9月中旬。寒地7月中旬~8月中旬。
- まき方** 畦巾50~60^{cm}に条播し、本葉3~4枚頃に株間20~25^{cm}の1本立とします。(間引も除草もしないバラマキ法もあります)
- まく量** 10アール当り、0.4~0.8^{kg}。(バラマキの場合は0.1^{kg}。)
- 肥料** 元肥…推肥1,500^{kg}、硫安40^{kg}、過石40^{kg}、硫加15^{kg}。
追肥…尿素20^{kg}。
- 薬剤散布** 初期は地ノミの防除として、BHC、DDTを散く。
- 利用** 暖地では、適宜収かくして与えます。
寒地では、降霜前に収かくし、葉茎は切り取り与え、根部を貯蔵します。
- 収量** 10アール当り、約6,000~8,000^{kg}。

ご注意 スウェーデンカブやセンダイカブはカブではありません。ルタバガと云う耐寒性の強い根菜です。地方によって家畜かぶと誤解されておりますのでご注意下さい。

飼料作物の平均収量は？

作物名	収量	摘要	作物名	収量	摘要
スーダングラス	7~8 ^ト	3~5回刈	家畜かぶ	6~8 ^ト	(乾草は、生草の約25%、サイレージは生草の約80%) (気候土壌条件、施肥量、播種期によって、収量に大きく影響される)
テオシント	8~10	"	レ—ブ	5~6	
カウピー	4~5		れんげ	4~5	
家畜ビート	8~10	暖地4~5 ^ト			